

一般質問



あべ 祐美子 議員 (民・無)

### 今後の区政運営について

①今後10年間の区政の方向性をどう考えるのか。②女性管理職の部長級以上がふえない現状をどのように分析しているのか。③指定管理者制度等において、事前審査やチェック体制の強化を。

区長 ①住み続けたいと区民が思うまちにしていこう。②特別区人事委員会の昇進基準に合致する職員がいないためだ。

総務部長 ③外部の視点も考慮した体制を検討していく。

### 東京オリンピック・パラリンピックに向けた区の取り組みについて

①オリンピック・パラリンピック関連支出に関する区の基本姿勢は。②ビーチバレー会場とホッケー会場を結ぶバス路線と、公共車両優先システムPTPSの導入を関係機関に働きかけては。③東京2020参画プログラムで、どのように機運醸成を図るのか。

企画部長 ①にぎわいの創出等に資するものについては、積極的に支出していく。②公共車両優先システムの導入検討を含め、路線バス網の拡充を事業者に求めていく。③パラリンピック啓発講演会等を行うなど、今後も積極的に機運醸成事業を実施していく。

### 海外姉妹都市・友好都市交流について

①イベント等を通じて、青少年交流事業に対する理解を広げては。②姉妹都市の交流経緯などを市民科の授業等で取り扱っては。③派遣生OBと交流の担い手として育成しては。④英語スピーチコンテスト等の上位数名は交流事業の参加費を免除する等の仕組みをつくっては。⑤親善交流に加え、新たな関係を構築するためのアイデアはあるのか。

### 地域振興部長 ①イベントでの事業紹介ブースの設置等を予定している。②地域の歴史を知る学習の一環として、品川寺の梵鐘にふれる体験をしている学校もある。③これまで3千82名が参加したという成果をもとに、更に活動を広げていく。④今後の研究課題とする。⑤実利面での交流の可能性を探りながら、更なる発展に努める。

### 災害時の避難所運営について

①避難所マニュアルについて⑦区内52の避難所のうち、何か所が作成済みなのか。①女性や子どもへの配慮や防犯対策等を定めているのは、何か所あるのか。⑦都の指針等

も参考に、共通ルールを早急に作成しては。②二次避難所と福祉避難所の障害者の受け入れ可能数等は。③高齢者や妊婦等に配慮した備蓄品について、学校避難所における備蓄状況は。④避難所運営マニュアルに、障害者等の居場所の確保や障害特性に応じた配慮などを具体的に明記しては。

### 災害対策担当部長 ①⑦47か所で作成している。①女性等への配慮が15か所、防犯対策は44か所だ。⑦充実が図られるよう取り組んでいく。②地域防災計画上、二次避難所の収容人数は計1千894人、福祉避難所は全体で数十名程度と見積もっている。③紙おむつやおかゆ等を備蓄している。④24か所の避難所において、専用スペースを定めている。

### 羽田空港に関わる諸課題について

①騒音を体感する目的で、試験飛行を行うよう国に要望しては。②大崎駅と成田空港を結ぶシャトルバスについて⑦利用実績と乗車率は。④空港地元対策として国の補助金等が投入されているのか。③羽田空港で、深夜枠に発着している航空機は何本か。④深夜便の増加に歯どめをかけるよう国に働きかけるべきでは。

### 都市環境部長 ①これまで

も国に要望してきた。②⑦1日約300～400名の利用で、乗車率は10～20%程だ。①運行には補助金は入っていないとのことだ。③1時間当たり離発着回数16便までの範囲で運用しているとのことだ。④引き



伊藤 昌宏 議員 (自・未)

### 林試の森、国家公務員宿舎跡地活用について

①小山台一・二丁目の国家公務員宿舎跡地を国から購入し、福祉施設や保育園等のために活用すべきでは。

区長 ①広域避難場所である都立公園に隣接していることから、都も取得を希望している。都と協議しながら、区としての検討を進めていく。

### 高齢化社会への対応について

①今後、日本は誰もが経験したことのない超高齢化社会を迎える。国や都はもろろん、民間企業等と協力拡大などが必要となってくると考えるが、今後の取り組みは。

福祉部長 ①行政だけでなく、民間企業も含めた地域の様々な総合支援活動の充実・連携を広げ、高齢者を地域で支える仕組みを構築していく。

### 高齢者の健康寿命延伸について

①健康寿命を延伸するため

⑦成人歯科健診の対象年齢の拡大を。①食後の歯磨き推進を、区民全体に展開しては。健康推進部長 ①⑦歯科疾患や生活習慣病の予防の観点から、開始年齢の引き下げを検討している。①歯磨きの重要性を啓発するなど、健康寿命の延伸に寄与していく。

### 高齢者の運転支援について

①高齢者向け安全運転診断サービスが産学共同で進められている。事故防止はもとより、運転技能が客観的に評価されるため、免許返上等につながる可能性があると考え、⑦区の評価は。①こうした動きと連携をとり、高齢者支援、安全運転技能向上等に対応すべきと考え、見解を。

福祉部長 ①⑦身体能力等の衰えにより高齢者の事故が増えていることは課題だ。こうした診断サービスの研究を通じて、運転技術を自覚するきっかけになればよいと思っ

### 少子化社会への対応策について

①明治大学教授が座長となつているワーキンググループが、現在の日本の人口規模を維持するための具体策として「親手当」を支給する政策を提案しているが区の見解は。

②区として少子化に対する政策を具体化し、国や都へ提案すべきでは。

### 子ども未来部長 ①今後、

国の施策にどのように生かされるかを注視していく。②区

としても、先を見据えた少子化対策の検討を進めていく。

### 品川区の観光政策について

①大井町等のイルミネーションについて、プロジェクト等を行うなど、新たな観光スポットとして開拓しては。②品川区観光振興協議会が設立されたが、どのように観光振興に役立てるのか。③品川区を訪れた観光客等を対象にアンケート調査を行い、新たな観光資源の発掘を。④プロの手による観光本等を作成すべきでは。⑤観光ホームページ等を構築し、観光情報を一元化すべきでは。⑥観光資源等をデータベース化し、プロモーション活動等を立案すべきでは。⑦都市型観光を視点とした、品川区の

観光政策等について見解を。文化スポーツ振興部長 ①プロジェクト等を行うなど、観光スポットの拡充について積極的に取り組んでいく。②事業推進に必要な観光情報の共有と課題検討、関係団体等との連携、調整を担っていく。③都市型観光プラン策定時の基礎調査を踏まえ、観光コンテンツの創出や充実に取り組む。④区内在住のライターやカメラマン等の編集チームにより「しながわ旅本」を作成した。⑤品川観光協会を拠点とした情報発信により一元管理に取り組んでいる。⑥区のシテイプロモーション等と連携し、相乗効果を生み出しながら取り組んでいく。⑦企業や団体の取り組みと区の施策を連携させ、取り組んでいく。

## 傍聴へお越しく下さい

本会議、常任・議会運営・特別委員会はどなたでも傍聴することができます。

傍聴を希望する方は、区議会事務局(区役所総合庁舎議会棟4階)で傍聴券の交付を受けてください。傍聴券は本会議、各委員会が始まる1時間前から交付します。定員は本会議は77人(車椅子用4席含む)、第1委員会は65人、第2～第5委員会室は各10人までとなっています。

